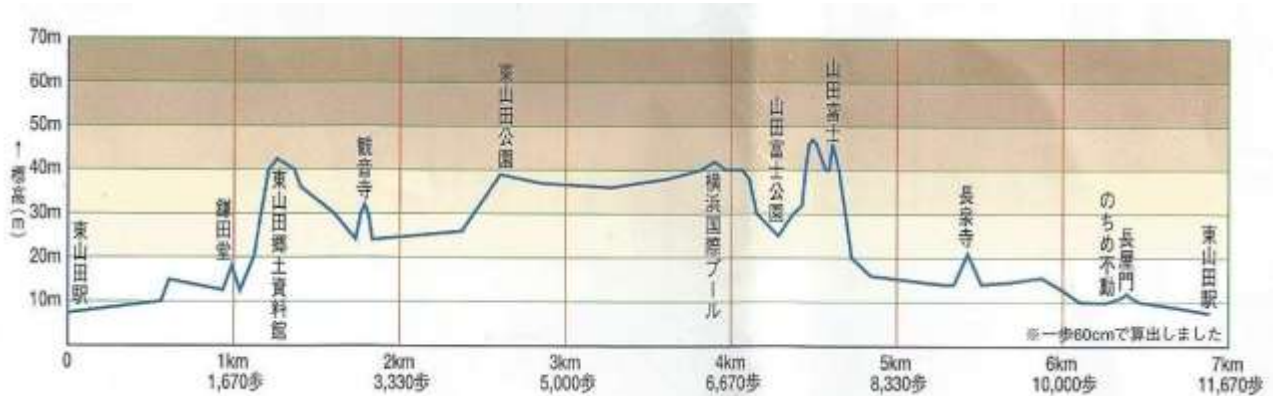


F 仲町台周回散策コース

歩行距離 約 7.5 ㌾。 13,330 歩 2 時 20 分 (但し、ポイント毎に 10 分の休憩見込む)

仲町台駅→せきれいの道→関家住宅→壽福寺→旧中原街道→勝田杉山神社→最乗寺→(勝田橋-矢橋-待橋-早淵かなりあ公園)→早淵公園 せせらぎ公園→(サカタのタネ)→東山田駅



* 開発の進んだ都筑区の中、旧街道の面影の残る路をたどり、由緒ある社寺、江戸時代から続く名主の家、タケノコのふる里としての名残を残す集落（旧勝田村の一部）を巡ります。



整然とした仲町台駅前広場



竹藪の切通しの道を左に下る

せきれいの道

茅ヶ崎公園よりせせらぎ公園から早淵公園へ結ぶ緑道で早淵川の畔まで続きます。冬は一杯の日を浴びて、逆に夏は日光の直射や照り返しを避けて快適な緑陰を作っています。

関家住宅

関家は江戸時代に代々名主を務めたため名家で、その住宅は国の重要文化財に指定されています。現在は持ち主が生活されているため公開はされていません。公開は「広報よこはま」で案内します。

壽福寺

1200年の歴史を持つ名刹で、本堂は白を基調とした書院風の建物です。境内には左手に浄土真宗の開祖である親鸞聖人の像が建ち、又横浜市で最も古いとされる山桜（江戸彼岸）と白樺の木があります。



旧中原街道

古くは鎌倉に通じ、その後、江戸から平塚を結ぶ街道となりました。東海道が整備された後も沿道の農産物を江戸に運んだり、旅人が利用していました。勝田の杉山神社の脇を通る坂道に当時が偲べれます。



関家 家康も鷹狩りの途中に立ち寄ったとか



ここから中へは入れません！

勝田杉山神社

五十猛命(イツマルミコ)、大和武尊(ヤマトタケル)を祀神とする杉山神社の中で、郷土史家が式内社(本祀)と推定した鎌倉時代から歴史がある「勝田の社」。ご神体は不動で高さ8寸。境内には桜、椿など樹木も豊か。カ自慢を競ったというカ石が安置されています。



壽福寺 江戸彼岸が咲く時期に訪れたい



勝田杉山神社の氏子総代は関さんでした

最乗寺

500年以上の歴史を持つ浄土真宗本願寺派の寺院。境内には市の銘木に指定されている推定樹齢600年の大銀杏と樹齢250年の白木蓮があります。寺院の建物も約200年前の江戸中期のものです。



最乗寺 春のモクレンは見事です



11月末の銀杏の黄葉は見ものです

お寺を出て旧中原街道から中原街道(現在拡幅工事中)に出て勝田橋まで直進し、橋を渡って右折します。農道を歩きながら早淵川にでます。荏田城から放った矢の先が落ちたと言われる矢橋を対岸に渡り待橋の手前を右折して早淵かなりあ公園に出ます。ここよりセキレイの道に入ります。



早淵川がゆったりと流れています



セキレイの道が紅葉の季節を迎えました。

早淵公園

広い運動場に隣接した小高い丘の頂上からは港北ニュータウンが一望でき、次々と新しいビルが建つ変化が実感できます。起伏に富んだ丘の竹林や自然林は楽しい散策コースです。

せせらぎ公園

自然林に囲まれた大きなせせらぎ池は桜の名所。睡蓮や紅葉も見事です。池の辺に古民家があり、野鳥や水鳥、昆虫も多く生息しています。

古民家

江戸時代後期の古民家と長屋門の門構えを移築して保存しています。当時の農具や生活用具なども展示、囲炉裏の火が昔を偲ばせます。四季の行事や様々な体験教室も開催しています。



せせらぎ公園の手前の風景です



せせらぎ公園では古民家で休憩しましょう



せせらぎ公園の周囲は桜に囲まれます



仲町台駅に向かうの商店街の美しい紅葉の並木道